

2015年3月期 第3四半期 決算説明

2015年2月6日
株式会社 **クレスコ**
経営企画室

[単位：百万円未満切捨]

1.1. 業績予想の修正 [連結](#)

[単位：百万円未満切捨]

	2015年3月期 期末 <2014/10/20公表予想>	2015年3月期 期末 <2015/2/6公表予想>	前年 同期比
売上高	24,000	24,900	113.0%
営業利益	1,750 (7.3%)	1,900 (7.6%)	132.9%
経常利益	1,900 (7.9%)	2,100 (8.4%)	125.2%
当期純利益	1,250 (5.2%)	1,350 (5.4%)	143.4%
EPS 円/株	119.15	128.68	

【注】 () 内の数字は各々の利益率を表します。

[単位：百万円未満切捨]

1.2. 決算のトピックス

[連結](#)

▶ 経営成績

			前年同期比		
⊕	売上高	...	181億54百万円	↑	24億27百万円 115.4%
⊕	営業利益	...	15億12百万円	↑	5億43百万円 156.0%

セグメント別売上高	ソフトウェア開発事業	金融・保険分野	73億40百万円	↑	13億89百万円	123.3%
		公共・サービス分野	36億 5百万円	↑	1億50百万円	104.4%
		流通・その他の分野	40億44百万円	↑	2億90百万円	107.7%
組込み型ソフトウェア開発事業		通信システム分野	7億20百万円	↓	▲ 72百万円	90.9%
		カーエレクトロニクス分野	11億14百万円	↑	5億31百万円	191.4%
		情報家電等・その他の分野	12億63百万円	↑	1億27百万円	111.3%
		商品・製品販売	65百万円	↑	8百万円	115.7%

▶ 財政状態

⊕	総資産	...	156億86百万円	↑	4億95百万円 前期末比
⊕	自己資本比率	...	62.8%		前期末 59.5%

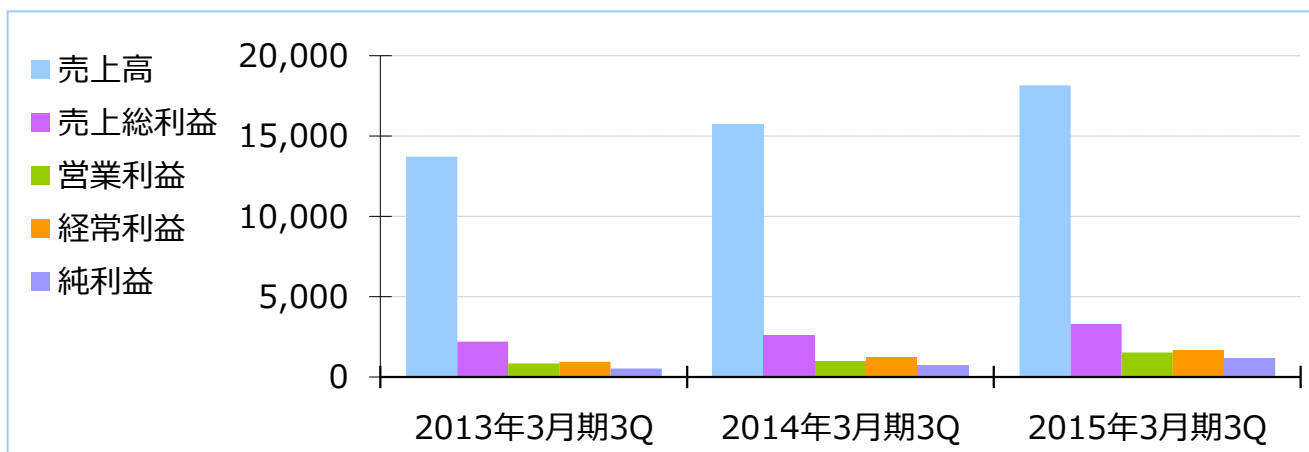
1.3. 損益計算書 [要約]

連結

[単位：百万円未満切捨]

	2013年3月期 3Q	2014年3月期 3Q	2015年3月期 3Q	前年 同期比
売上高	13,712	15,727	18,154	115.4%
売上総利益	2,194 (16.0%)	2,616 (16.6%)	3,292 (18.1%)	125.8%
営業利益	840 (6.1%)	969 (6.2%)	1,512 (8.3%)	156.0%
経常利益	944 (6.9%)	1,201 (7.6%)	1,690 (9.3%)	140.7%
当期純利益	525 (3.8%)	719 (4.6%)	1,183 (6.5%)	164.5%
EPS 円/株	48.64	66.68	112.52	

【注】 () 内の数字は各々の利益率を表します。

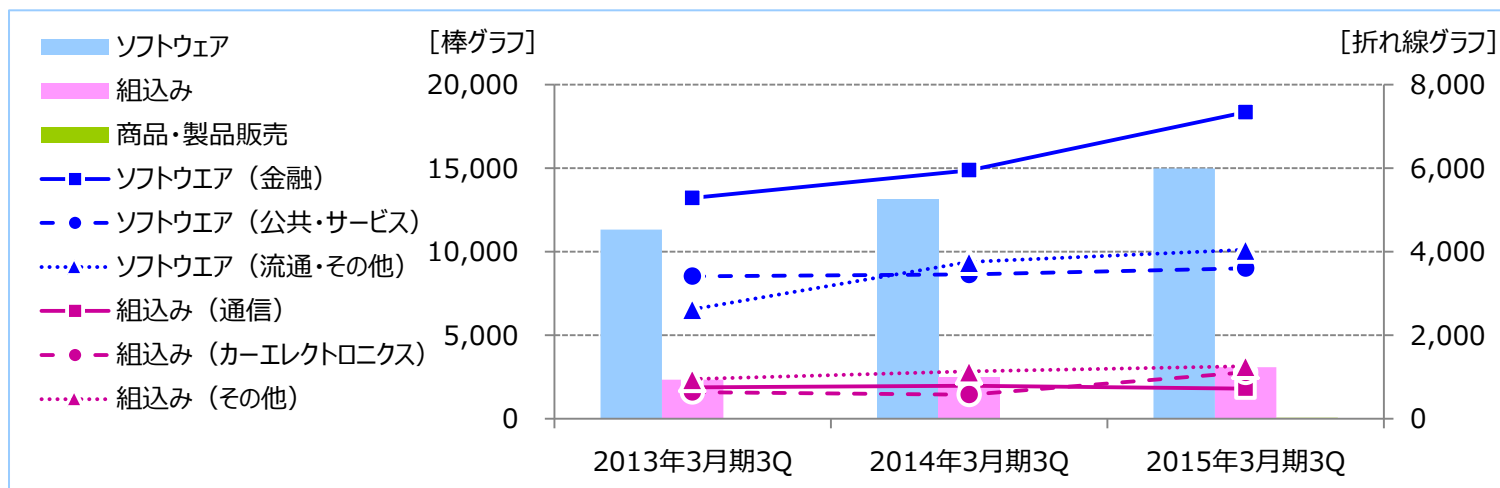


1.4. セグメント別売上高

連結

[単位：百万円未満切捨]

セグメント		2013年3月期 3Q	2014年3月期 3Q	2015年3月期 3Q	前年同期比	
ソフトウェア	金融・関連	5,286	5,951	7,340	1,389	23.3%
	公共・サービス	3,414	3,455	3,605	150	4.4%
	流通・その他	2,625	3,754	4,044	290	7.7%
	計	11,327	13,160	14,991	1,830	13.9%
組込み型ソフトウェア	通信システム	751	793	720	▲ 72	▲ 9.1%
	カーエレクトロニクス	642	582	1,114	531	91.4%
	その他	950	1,135	1,263	127	11.3%
	計	2,344	2,510	3,097	587	23.4%
商品・製品販売		41	56	65	8	15.7%
全計		13,712	15,727	18,154	2,427	15.4%



1.5. 振り返り

単体

全般傾向

- ❖ **ビジネス向けソフトウェア開発**
 - 全般的に受注が増加、特に金融、生命保険関連の規模拡大
 - スマートフォン、タブレットPC関連の案件が増加（Beacon関連も含む）
 - 運輸、旅行関連の引き合い増加
- ❖ **組込み型ソフトウェア開発**
 - 国内メーカー向けのカーエレクトロニクス関連の開発が規模拡大
 - デジタルテレビ関連開発は案件規模を維持
- ❖ **オリジナル製品・サービス関連**
 - 『モビック』… SAP業務アプリケーションのモバイル化活用事例を展開（展示会やセミナーを活用）
 - 『クリアージュ』… AWSをベースとしたクラウドソリューション活用事例が増加 システムインテグレーションサービスの引き合い増加
 - 『インテリジェントフォルダ』… “ワンランク上”のオンラインストレージサービス新製品『インテリジェントフォルダExpress』の拡販を強化



継続課題






開発要員の確保（社員および協力会社）

新規事業の立ち上げと拡販

品質管理とプロジェクトマネジメント





1.6. 振り返り①

子会社

	クレスコ・イー・ソリューション	<ul style="list-style-type: none">❖ 主力のERP (SAP/R3) コンサルティング事業が堅調、一括案件の発掘に注力❖ ERP関連のソリューションの開発、販売が伸び悩み❖ SAP関連サービスの業容拡大、人材採用（特に経験者）が課題
	ワイヤレステクノロジー	<ul style="list-style-type: none">❖ 受注案件の小口化が継続、外部パートナー企業との協業ビジネスを推進❖ 量産向け、国産スマートウォッチ用モジュールを開発（2015/1/22発表）❖ クレスコグループ間連携と、開発体制の強化が課題
	クレスコ・アイディー	<ul style="list-style-type: none">❖ 主力のセキュリティロッカー、図書館システム（予約棚）の受注が不調❖ RFID関連の応用製品やICタグの販売は、引き合いは増加するも案件規模小❖ 飲食店向けハンディライターの販路開発が課題
	アイオス	<ul style="list-style-type: none">❖ クレスコグループ内の連携により、営業機会を拡大❖ 待機要員の解消や、プロジェクトマネジメント力の向上で利益増❖ 新規開拓と協力会社を含む人材の確保が課題
	クレスコ九州	<ul style="list-style-type: none">❖ 新規開拓を含む地場企業の案件掘り起こしを行うも、受注単価が厳しい❖ クレスコグループとの営業連携の他、製品販売やニアショア開発で利益確保❖ 人材採用（特に経験者）、協力会社の確保が課題

1.6. 振り返り②

子会社

	クレスコ北陸	<ul style="list-style-type: none">◆ 主力のソフトウェア開発の他、CAE（解析、技術支援）サービスが堅調に推移◆ クラウド提供型のシステム開発に着手、ソリューションの全国展開を目指す◆ クレスコ・アイディーとの協業で開発したハンディライターの拡販が課題
	科礼斯軟件（上海）	<ul style="list-style-type: none">◆ 中国進出企業の支援ビジネスを事業の柱に、営業活動を展開◆ 上海地場の外部パートナー企業との開発体制を構築◆ 継続的な案件の獲得と、マネジメント体制の整備が課題
	シースリー	<ul style="list-style-type: none">◆ 信号、車両電気、交通電力等、鉄道関連の制御系システムに強み◆ 情報系の開発案件が堅調に推移、要員の稼働率が安定◆ 交通関連システム、インフラ関連システムの更なる拡充が課題
	クリエイティブジャパン	<ul style="list-style-type: none">◆ 一括請負型ビジネスの受注に注力し、利益率向上、経営基盤の強化を推進◆ ネットワーク関連の技術力を武器に、クレスコの基盤ビジネスとの連携を強化◆ エンドユーザ拡大、成長分野への参画（N/W仮想化・高速化、等）が課題

|2.1. 基本方針①

次世代クレスコの推進と収益力向上 信頼と成長

次
世
代
ク
レ
ス
コ

1. 中堅IT企業トップリーグ入り
2. 現事業での卓越性
3. オリジナル製品およびサービスの開拓
4. ユニークな子会社群による複合IT企業
5. 営業拠点の広域化
6. 海外進出
7. 技術研究所設立
8. 女性が活躍できる職場
9. 人材育成のモデル企業
10. クレスコブランドの浸透

| 2.1. 基本方針②

私たちは

「**メインITソリューション・パートナーを目指す**」こと、
「**ワンストップ・ソリューションを提供する**」ことの2つを**ビジョン**として掲げ、
グループ企業と一丸となり、将来に向けて精進してまいります。

- ▶ 2014年度は、次世代クレスコの仕上げに入る段階であり、計画の実行とレビューを通して、更なる収益性の改善と企業価値の増大に向け、重点施策の具現化を推進してまいります。
- ▶ 業績の飛躍に必要な投資（製品/サービス関連イベント開催、人材採用、社員教育、先端技術研究等）は積極的に行ってまいります。
- ▶ コーポレートガバナンス強化とコンプライアンス経営の徹底を実施し、主体的にその社会的責任を果たしてまいります。

2.2. 重点施策

- ▶ 「技術と品質のクレスコ」の推進と技術研究所の強化
 - ◆ 企業グループ全体の「品質マネジメント力」の向上
 - ◆ 先端技術を活用したビジネスの実現

- ▶ 組込み関連事業の再構築と新ビジネスモデル創出
 - ◆ 近距離無線関連のソリューション開発
 - ◆ 機能安全関連の事業領域拡大

- ▶ グループ連携強化による収益性の改善と企業価値の増大
 - ◆ 協業による新規ソリューションの開発
 - ◆ クロス営業の強化
 - ◆ 高度スキル人材の育成

- ▶ ニアショア開発、オフショア開発の推進
 - ◆ 地方分散開発体制強化
 - ◆ 海外開発体制（中国、ベトナム）の整備

- ▶ クラウド関連ソリューションの展開
 - ◆ 第3のプラットフォームを取り込んだソリューション提案の実行

2.3. 今後の事業展開、株主還元方針等①

1 経営環境

当第3四半期連結累計期間(2014年4月1日～12月31日)の経営環境は、政府および日本銀行の継続的な経済対策や金融政策を背景に、企業収益の改善や設備投資の持ち直しがみられるなど、緩やかな回復基調となりました。

情報サービス産業においては、第3のプラットフォームといわれる「クラウド、モビリティ、ビッグデータ、ソーシャル技術」の拡大が企業の戦略的ICT投資に与える影響を強めており、当社の強みである3つのコア技術「基盤システム、アプリケーション、組込み」を最大限活かせる追い風の経営環境となっております。

当社企業グループでは、主力の金融分野や公共サービス分野の他、車載関連分野が好調に推移し、当第3四半期連結累計期間の業績は、前年比増収増益となりました。

2 今後の見通し

2015年の日本経済は、好循環が更に進展すると見込まれており、国内企業のICT投資は、クラウドを中心に更に活性化すると考えております。

クラウドやモバイル端末(スマートフォンやタブレットPC等)を利活用したシステムへの移行、ICTシステム基盤の統合・再構築、ビッグデータの分析と活用、ソーシャル・テクノロジーのビジネス活用など、第3のプラットフォームといわれる「クラウド、モビリティ、ビッグデータ、ソーシャル技術」に関連する市場の成長が、ウェアラブルテクノロジーや「モノのインターネット」(Internet of Things : IoT)と相まって加速すると予測しております。

特にモビリティとソーシャル技術は、市場に大きなインパクトをもたらす分野になると考えており、「仕組み、仕掛け」を創り出すソフトウェア開発事業は、当面の成長が見込まれております。

2.3. 今後の事業展開、株主還元方針等②

3 今後の事業展開

当社企業グループが提供するサービス分野は、第3のプラットフォームといわれる「クラウド、モビリティ、ビッグデータ、ソーシャル技術」を概ね取り込めるポジションにあり、システムインテグレーターとして第3のプラットフォームに関する先端技術的な提案のみならず、エンドユーザー企業が戦略的IT投資を通して成長を実現できる現実的な提案を期待されております。時代に即したトレンドをしっかりと取込んだソリューションの展開を通じて、多様化する顧客ニーズにスピーディな対応をしております。また、Beacon,RFID,NFCなどの近距離無線通信を応用したインテグレーションサービスにも積極的に取り組んでまいります。

当社企業グループが長年培ってまいりました技術と経験を活かして、顧客の環境変化をいち早く捉え、顧客のビジネスチャンスを支援する新規性と利便性を備えたサービスを開発するとともに、お客様との共同研究やアライアンスビジネス（協業）も含めた事業を展開してまいります。

4 株主還元方針

株主還元方針といたしましては、何よりも業績に裏付けられた適正な利益配当に重点をおいており、特段の株主優待は行っておりません。なお、配当に関しましては、当社の経常利益（単体）を基に特別損益を零とした場合に算出される当期純利益の40%相当を目途に継続的に実現することを目指してまいります。

- ❖ 掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤り等によって生じた損害等に関し、当社は一切責任を負うものではありません。
- ❖ また、本資料は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願い申し上げます。
- ❖ なお、本資料における将来予測に関する情報および業績見通し等の予想数値は、現時点で入手可能かつ合理的な情報による判断および仮定に基づき記述しております。
- ❖ 今後、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、予告なしで情報を変更したり、実際の業績や結果と大きく乖離するなど、本資料の内容とが異なる可能性もございます。予めご了承ください。

【 IRのお問合せ】 経営企画室

Mail : ir@cresco.co.jp

TEL : 03-5769-8058